

一般質問…ここが論点

6月定例会

6月定例会中、9日、10日、11日の3日間で、市政全般について14人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、6月定例会会議録（9月上旬発行予定）を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システム（9月上旬掲載予定）をご覧ください。

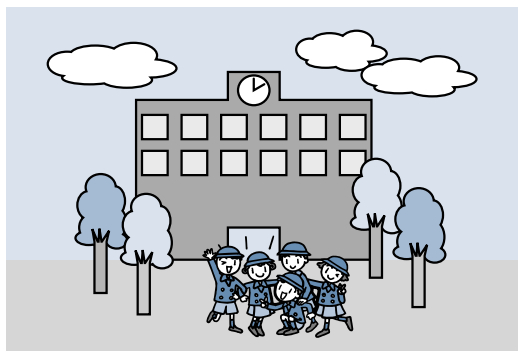
荘田博己（未来の会）

市の教育施策について

問 開かれた教育のため、校長・教育長の公募制及び学校選択制度の導入はできないか。

答 現在のところ、公募制については、必要性があると考えていない。学校選択制度は、不登校、部活などで必要があれば弾力的に認めていくが、原則現状のまましていく。

問 いじめ・不登校問題解決のため学校以外の場



が必要では。また、スタッフなど民間のボランティアを利用してはどうか。

答 当面は、現状のままでもいいきたいが、対象の子供が増えてきたら考えたい。

問 絶対評価による公立高校入試制度の公平性について伺う。

答 絶対評価のため各中学校間の学力差はあるが、公平になるように努めたい。市内七中学校で統一学力テストをやる予定はない。志望校の決定では、学校側はあくまでもアドバイザーであり、話し合いが大事。

大向正義（未来の会）

新型コロナウイルス（SARS）の対応、対策は

問 SARSに対する市の対応と対策、また経営に悪影響を受けた中小企業への支援策について伺う。

答 情報の共有化、対策の情報検討等を目的に関係五部六課でSARS対策連絡会議を設置した。今後の対応には万全を期したい。県と協調した融資制度が

あり、市単独の制度の新設は難しい。不況業種に認定されるよう県を通じ国に実態を伝えていきたい。

中小企業の再生・転業・自立の支援策について

問 中小企業支援のための金融制度と繊維産業のマネージメント・企画・デザインを支援する機関の創設について伺う。

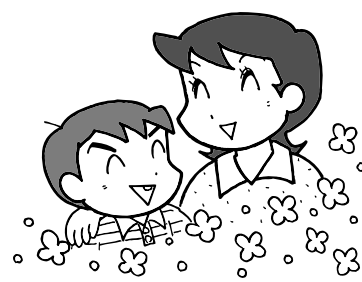
答 既存の融資制度の活用をお願いする。また三河繊維産業商品開発研究会の運営等に国、県とともに引き続き補助していく。今後は一宮市の人材育成への取り組みを勉強したい。

松本昌成（公明党）

母子家庭等の自立支援対策の充実は

問 四月から母子及び寡婦福祉等の一部を改正する法律が施行されたが、市の新たな取り組みはあるか。母子自立支援相談員を新しく採用し、週三日

答 間相談業務を行っている。



ごみのふれあい収集はできないか

問 独居老人のために、ごみを戸別に収集するふれあい収集はできないか。

答 ふれあい収集を実施するには対象者をどう決めるかということと新たに人と車両を配置しなければならぬ。ごみの収集は民間委託で行っているがさらに委託費が増加するので直ちに実施する考えはない。